

星のたより

2026(令和 8)年

8月号

Vol.383



☆今月の豆知識☆ ㊦ んもんだいは研究用で観測ばかりしていると思っ
てない？ 日本には「公開天文台」と呼ばれている、一般の人が観測できる天文台があるんだ
よ。最初に日本に公開天文台ができたのは「倉敷天文台」。当時は民衆天文台と呼ばれてい
たんだった。今年は倉敷天文台が設立されて 100 周年の記念の年。この夏、みんなの近くの
天文台に行って、星空観察をしてみない？

イベント情報 ★★★★★★★★★★★★★★

スター・ウィーク ～星空に親しむ週間～

日時：2026 年 8 月 1 日(土)～7 日(金)

毎年、8 月 1 日～7 日は、スター・ウィーク ～星空に親しむ週
間～ です。今年は満天の星が見られる絶好の条件です。

毎年、公募で選ばれるキャッチコピ
ー。今年は「星空見る人、このゆびと
まれ!」。須山さん(神奈川県)の作品
で「子どもの頃、夢中になって星空を
眺めた思い出をコピーにしました」と
いうメッセージが込められています。



☆期間展示☆

さじアストロパークコレクションシリーズ②「メシエ天体」

日時：6 月 17 日(水)～12 月 6 日(日)まで

場所：さじアストロパーク

1994 年 7 月オープン以降これまで、さじアストロパークが記録した星や天文現
象の写真展示の第 2 弾。お気に入りの「メシエ天体うちわ」を探しましょう。

M83 南の回転花火銀河

★★★★今月の開館情報★★★★

☆宇宙ふしぎ探検☆

ペルセウス座流星群を見よう

日時：8 月 12 日(水)、13 日(木)

21:30～23:00

今年は月明かりがなく、好条件で観察できま
す。園地での観察となりますので、虫よけグ
ッズや長袖などをご用意ください。

さじアストロパーク・佐治天文台

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

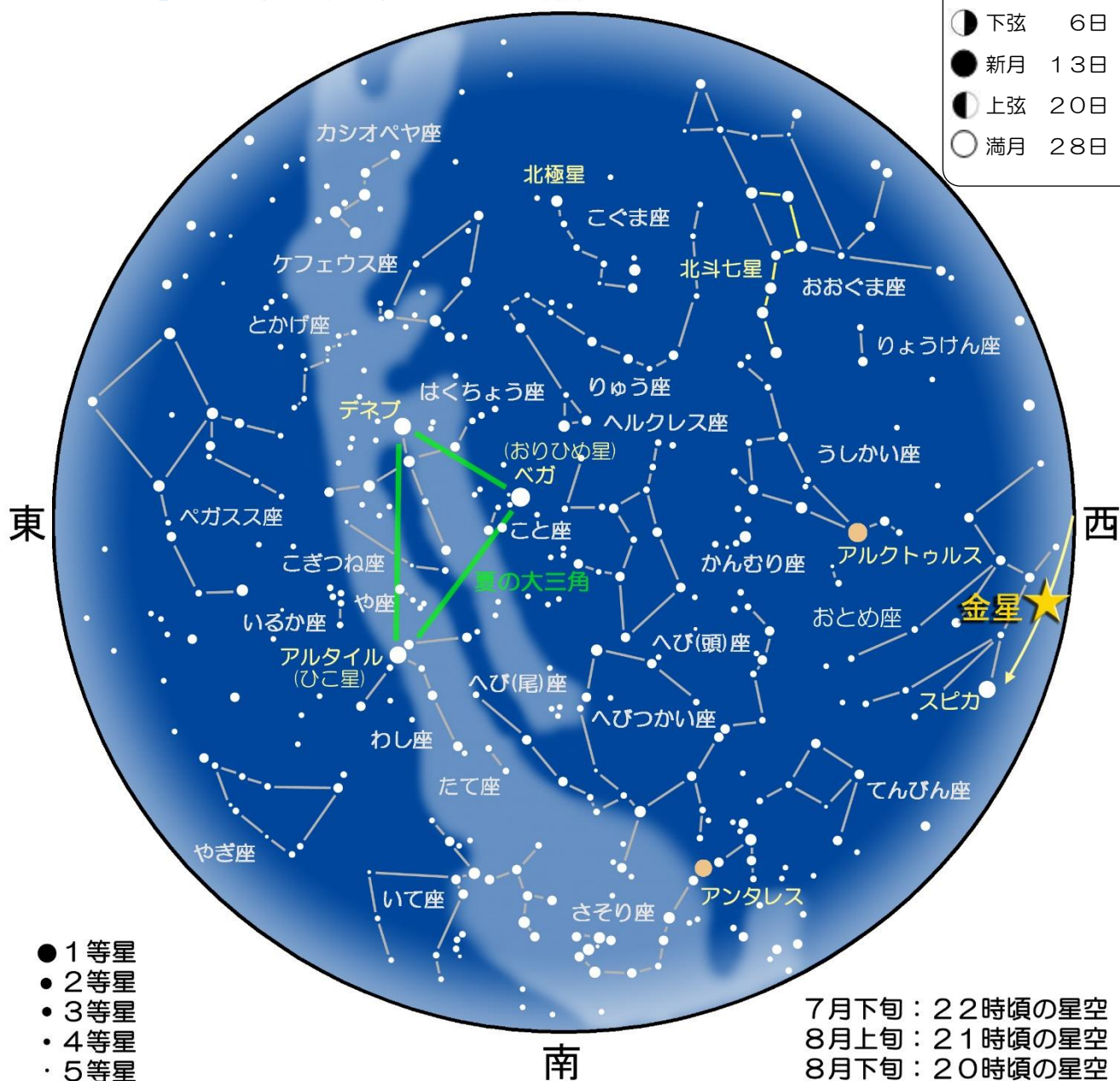
2026年8月							開館時間 10:00～17:15 (金・土～22:00)
							夜間予約 19:00～21:00 観察会 20:00～
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
26	27	28	29	30	31	1	
2	3 休	4	5	6	7	8	
9	10 休	11	12 特別 イベント	13 特別 イベント	14	15	
16	17 休	18 休	19	20	21	22	
23	24 休	25	26	27	28	29	
30	31 休	今月の イチオシ					ペルセウス座流星群
夜の観察会 やってます	夜の観察会 予約OK	※イベント・天候などにより変更することがあります。 最新情報はHPをチェック					

2026 年8月の星空

北

今月の月の暦

☾ 下弦	6日
● 新月	13日
☾ 上弦	20日
☾ 満月	28日



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

7月下旬：22時頃の星空
8月上旬：21時頃の星空
8月下旬：20時頃の星空

☆^{たの}楽しいな夏休みシーズン。^{お盆}のころはちょうど月明かりがなく、^{満天}の星を楽しむチャンスです。^{虫刺}されに気を付けながら^{星空}を楽しみましょう。

☆^{夕方}西の空でひときわ目を引くのが「^宵の^明星・^{金星}」です。まだ空が^{明る}いうちから見え始めますので、^{太陽}が沈んだら^{早め}に^{西空}をチェックしてみましょう。

☆^{今年}の夏は、夏の星空の定番「^{夏の大三角}」を見つけられるようになりましょう。^東を向いて^{頭の真上}あたりを見渡します。明るい順に3つの星が見つければ夏の^{大三角}です。^{頭の真上}近くにある一番明るい星が「^{ベガ}」、^{南側}に少し離れている星が「^{アルタイル}」、^{北寄り}のベガに近い星が「^{デネブ}」です。この^{辺り}を夏の^{天の川}が通っていますので、^{目印}になるでしょう。

フラネタリウムや観測会の時間、
休館日、宿泊の予約など最新情報は、
ホームページ&YouTube
各種 SNS(X、Facebook、インスタ)
をチェック



発行:さじアストロパーク 鳥取市佐治町高山 1071-1

やかんかんぼうかい てんたいかんさつかい 夜間観望会(天体観察会) 103cm 大型望遠鏡で星空観察

ドーナツ星雲 (M57)

(公開天文台 100 周年記念)

※観望会終了後に園地にて
スマホで天の川の撮影に
チャレンジします。

1(土)、7(金)、8(土)、13(木)~15(日)

こと座の1等星・ベガ

21(金)、22(土)、28(金)、29(土)

観望会で月がよく見える

21(金)~23(日)、25(火)

観望会で満天の星が楽しめる

4(火)~9(日)、11(火・祝)~16(日)



こんな天体が見ごろです(テーマ:夏の星たち) M13、M57

M13

種類: 球状星団

星座: ヘルクレス座

明るさ: 5.8等

距離: 2万5100光年

ヘルクレス座の中にある球状星団です。50万個以上の恒星が集まり、その直径は100光年以上ありとされています。北天ではもっとも大きく見られる球状星団で、見かけの大きさは満月の3分の1ほどもあります。天気がよければ、双眼鏡でもぼんやりとした丸い雲のように見えます。



ベガ

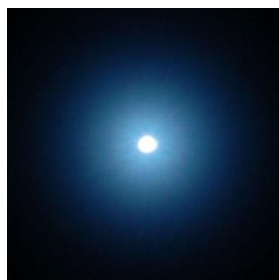
種類: 恒星

星座: こと座

明るさ: 0.0等

距離: 25光年

こと座の1等星で、望遠鏡で見た輝きは素晴らしいものがあります。夏の三角形の一番西側に位置します。七夕のおりひめ星でもあり、その白い輝きはおりひめとしてぴったりです。



M57

種類: 惑星状星雲

星座: こと座

明るさ: 9.3等

距離: 2600万光年

「ドーナツ星雲」の名前のとおり、輪っかのかたちに見える星雲です。太陽くらいの重さの星が一生を終えようとしている姿で、中心の星から噴き出したガスが星の光(紫外線)に照らされ、蛍光灯と同じ仕組みで光っています。ガスは時速7万km以上のスピードで今もどんどん広がっており、やがて宇宙空間へと消えていきます。



アルビレオ

種類: 二重星

星座: はくちょう座

明るさ: 3.1等と5.1等

距離: 386光年

はくちょう座のくちばしのところに位置するβ星です。肉眼では一つの星にしか見えませんが、望遠鏡で観察するとややオレンジ色の3等星に青色の5等星が寄り添っている姿を見ることができます。二重星の中では色や輝きなどの美しさで一番のおススメです。

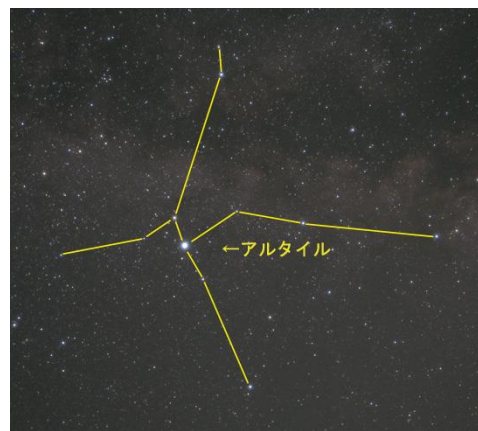


こんげつ 今月のイチョシ星座

ざ わし座

み 見つけ方

8月の夜8時～9時ころに東の空を見上げ、明るい星を3つ見つけて大きな三角を作ってください。これが「夏の大きな三角」で、一番南側にある星がわし座の1等星アルタイルです。星がたくさん見える場所で月明かりの邪魔がないときは天の川も見え、そこに位置するわし座をたどることができるでしょう。天の川は水が流れているのではなく、私たちのいる銀河系を構成する星々が輝いているのです。双眼鏡などで天の川を観察すると多くの星で構成されていることがわかります。



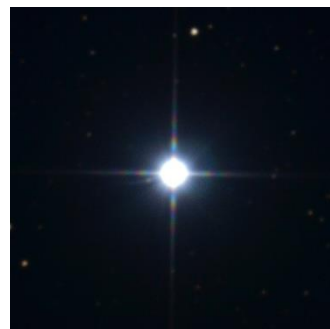
せいざ ゆらい しんわ 星座の由来・神話

ギリシャ神話では大神ゼウスが変身した鷲として登場します。鷲に姿を変えたゼウスは地上の人間界から美少年ガニメデスをさらってきます。その姿が星座になりました。日本ではわし座の1等星アルタイルは七夕の星（ひこ星）として知られています。

おも てんたい 主な天体

★アルタイル (恒星)

わし座の1等星アルタイルです。きれいな白い輝きに注目です。地球から光のスピードで17年（17光年）のところにあります。



ここに注目！ イチョシ ポイント！

わし座のアルタイルは彦星、こと座のベガは織姫星となり天の川の両岸で輝いています。大阪府枚方市の観音山公園では牽牛石（ひこ星）がまつられています。お相手の織姫は機物神社（交野市）でまつられており、天野川（天の川）に架かる逢合橋で遭うという七夕に関連した話があります。大阪には星や七夕にちなんだ地名や神社仏閣などいくつかあります。尋ねてみてはいかがでしょうか。



けんぎゅういし
牽牛石



はたものじんじや
機物神社

プラネタリウムのおしらせ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ばんぐみ デジタル番組 「ルネサンス 望遠鏡の新しい時代」

投影期間は 7 月 23 日(木)～11 月 15 日(日)



ナレーション: 豊崎愛生

天文学に新たなルネサンスが訪れる

ルネサンス期に芸術文化が栄え、天文学も地動説への変革があった。
望遠鏡がそのきっかけであり、現在も新たな天文学の時代を迎えている。
ティコ・ブラーエやケプラーの貢献、ガリレオの発見、ニュートンの反射望遠鏡の発明など、400年以上にわたる人類の探求心を描く。

公開天文台100周年に合わせて望遠鏡がテーマの作品を上映します。人類はなぜ星空や宇宙に魅せられるのでしょうか。

 公開天文台 100 周年 記念事業公認企画

華やかな芸術文化が開花したルネサンス期。天文学の世界も地球中心説から太陽中心説へと変わりつつありました。そのきっかけの一つが天体望遠鏡です。そして今、新たな「ルネサンス」を迎えています。

肉眼の観測で宇宙を探っていたティコ。太陽中心説を確実なものとしたケプラー。偶然発明された望遠鏡とそれを使ったガリレオの新たな発見の連続。反射望遠鏡を発明し望遠鏡の革新をもたらしたニュートン。地上で活躍する大型望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡。そして新たな天文学を切り開くジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡など400年の時を越えた人類の探求心を描いていきます。

投影開始時刻	平 日	10:30 ～	なし	14:00 ～	16:00 ～
	土・日・祝	10:30 ～	12:30 ～	14:00 ～	16:00 ～

投影時間（約45分間） 前半（約18分）：専門職員による今夜の星空生解説
後半（約27分）：デジタル番組「ルネサンス 望遠鏡の新しい時代」

プラネタリウム観覧料 一般(高校生以上)300円、小中学生200円（入館料別）

※イベントや団体利用などで開始時刻が変わる場合があります。
最新情報は [HP](#) をご確認ください。

宇宙ふしぎ探検



「ペルセウス座流星群を見よう」

日時：2026年8月12日(水)、13日(木) 各日21:30~23:00

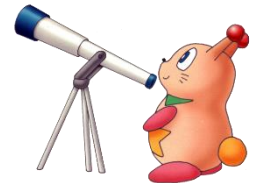
参加費：無料 ※20時または21時の夜間観望会に参加される場合は別途料金が必要です。

また館内の展示をご覧になる場合も別途料金が必要です。

その他：佐治天文台は23時まで開館しますが、トイレのみの利用となります。

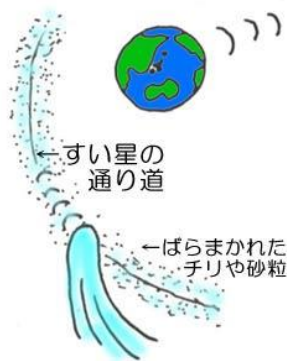
(22時以降、館内展示はご覧いただけません)

雨天曇天時は他施設の流星ライブ配信を会議室で映します。



ペルセウス座流星群とは？

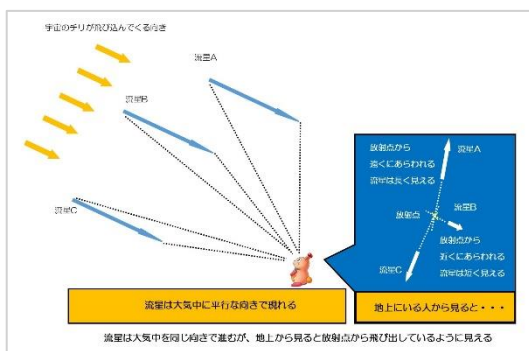
「三大流星群」のひとつで、毎年お盆の頃に見ることができる流星群です。ペルセウス座のあたりから流れるので、「ペルセウス座流星群」と呼ばれています。その歴史は古く、最も古い観測記録は西暦36年で、1時間あたり100個以上の出現が観測されています。また、存在が明らかになったのは1837年です。



流星群の仕組み

流星の母天体であるスウィフト・タートル彗星が軌道上にチリをまきちらします。そこに毎年8月、地球が突入します。すると、前面の空気が急激に圧縮されることによる断熱圧縮というしくみで加熱され、プラズマ化することで光ります。流星の元になるのは、数ミリから数センチほどのチリで、地上100kmあたり上空で光ります。

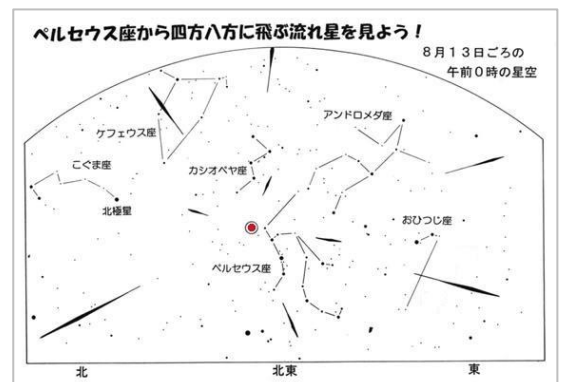
放射状に見える理由と流星の長さの違い



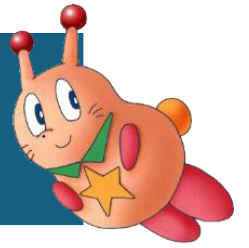
はるか遠い先まで続く直線の道路を真正面に立って見ると、1か所から広がっているように見えます。平行に飛んでくる流星も真正面にいる私たちから観察すると1点から飛び出すように見えます。放射点の中心近くの流星は短く、離れた所を流れる流星は長く見えるのは、等間隔に並んでいる木でも遠くなるにつれて間隔が狭くなって見えるのと同じ原理です。

観察方法と注意点

ペルセウス座のあたりから四方八方に飛びます。秋の星座「ペルセウス座」を中心に広い範囲を眺めましょう。早い時間なら北東の空、夜明け前などは天頂付近を眺めてみましょう。今年は月明かりの影響はありません。条件良く、一晩中見ることができます。観察するときは、車がこない安全な場所で見ましょう。

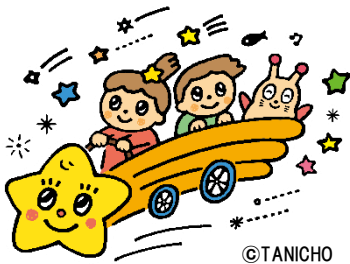


気軽に星空を
たのしもう！ キラットちゃんの耳より情報コーナー★
「流れ星観察スタイルのススメ」



流れ星をたくさん見てみたい！という方は多いのではないのでしょうか？今回は流れ星を観察するコツや便利なグッズを紹介しますよ☆彗

流れ星を見つけるコツ ★★★★★★★★★★★★★★★★



星空を広く、長い時間眺めるのが最大のコツです。双眼鏡や望遠鏡など特別な道具はいりません。空が開けている場所で暗さに目を慣らすために 30 分以上観察してみましょう。街灯などの照明やスマホなどの明るい画面は禁物です。実は流れ星は流星群の時期以外にも流れているので、のんびり星空をながめていると思いがけず素敵な流れ星に出会えることもありますよ。

星空観察の準備 ★★★★★★

夜の活動には危険がいっぱい。駐車場や足元が不安定な場所を避けて、安全第一で観察しましょう！

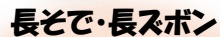


ヘッドライト・懐中電灯

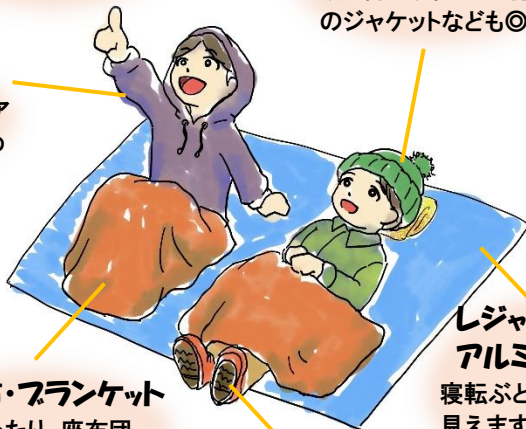
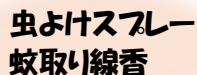
他の人の迷惑にならないように
自分の足元を照らしましょう。
赤い色や電球色が◎



意外と冷えてくるのが
頭と首です。フード付き
のジャケットなども◎



夏場以外はスノーウェア
の上下セットもおすすめ



毛布・ブランケット

羽織ったり、座布団
や枕の代わりに

厚手の靴下・運動靴

冬場はブーツなども OK
足首を冷やさないように！

レジャーシート アルミマット

寝転ぶとより空が広く
見えます。周囲の安全
確認は忘れずに！

★ 最大の準備は寒さ対策

星空を長くながめていると、体を動かさないので夏場でも想像以上に体が冷えます。満天の星の下で寒くてギブアップする人を何度見たことか・・・。

あったらもっと
便利なグッズたち

★おやつ・あたたかい飲み物

ほっと一息つけるとうれしい。

★ハイバックチェア(リクライニング付)

レジャーシートより快適かも。

★寝袋・電気毛布・使い捨てカイロ

寒い時期は防寒対策を強化。

★手袋・マフラー

夏場以外は手と首もしっかり保温。

★星座早見盤

流れ星を待ちながら星座を探そう。

★時計・タイマー

観察時間の記録や寝る時間の確認に。

★カウンター

しっかり数えるときに便利です。

★筆記用具&メモ・バインダー

流星の特徴や気づいたことをメモ。

慣れたら流星観測にも挑戦！

★ 流れ星の数を数えるのも立派な観測

観察時間と流れ星が何個見えたか記録をするだけでも研究データになります。毎日記録を続けると何か新しいことが見つかるかもしれません。2025 年のペルセウス座流星群ではたくさんの流れ星が同時に流れる「流星クラスター」という、とても珍しい現象も観測されました。出会えたらとってもラッキーですね☆もっと詳しく調べたり、自由研究をするなら「日本流星研究会」の Web サイトが参考になりますよ。



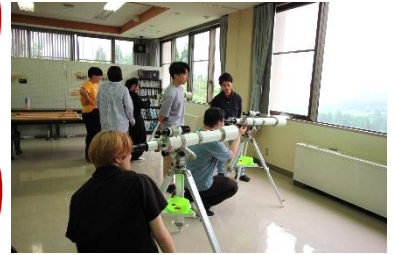
かつどうほうこく アストロ活動報告



6月上旬から7月上旬にあった日々の出来事やちょっとした事件、イベントの様子をお伝えします。一部の画像はXやFacebookなどで公開しています。

鳥取大学の講義・実験「地球科学」 2026年6月3日(水)

さじアストロパークの天文スタッフが非常勤講師となって、鳥取大学の講義・実験「地球科学」を行っています。この日は「太陽観測」をテーマに黒点観測に挑みましたが曇ってしまいました。6月中には実験1回、講義も3回あり、新人スタッフ・山崎も講師デビューを果たしました！



金星と木星の接近 2026年6月10日(水)

夕方の西空で、金星と木星が接近して輝きました。明るい2つの惑星が接近するのは、やはり見ごたえがありました。だんだん離れていく様子も楽しめました。



宇宙ふしぎ探検「月・金星・木星」 2026年6月17日(水)～19日(金)

西空に見える金星と木星の近くに、月がやってくるタイミングで、宇宙ふしぎ探検「月と金星・木星を見よう・スマホで撮影してみよう」を実施しました。残念ながら天気に恵まれず、3つの天体を同時に見ることはできませんでした。

さじっ子が七夕飾りを設置 2026年6月17日(水)

さじっ子児童クラブの子どもたち20名が、佐治天文台の入口付近に七夕飾りを作ってくれました。7月中旬まで、短冊を各コーナーを設けていて、みなさんにたくさんの願い事を吊るしていただきました。



満月 2026年6月30日(火)

梅雨らしいどんよりとした天気が続き、なかなか星空が見えていませんでしたが、満月の日は薄雲を通して、きれいなお月さまを見ることができました。

七夕・星まつり 2026年7月4日(土)

七夕に近い土曜日に合わせ「第33回 七夕・星まつり」を行いました。時々雨が降る天気で七夕の星は見えませんでした。コスモスマルシェをはじめ、いろいろなコーナーで盛り上がりました。七夕の星や天の川はこれからの見ごろなので楽しみです。(Ori)

